

教科・科目		学科・学年	単位数	教科書
家庭科・家庭基礎		普通科・1年	2	高等学校改訂版家庭基礎 持続可能な未来をつくる(第一学習社)
科目の概要と目標		生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解と技能を身に付け、自立した生活者として必要な実践力を身に付ける。		
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1 学期	衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と被服 ・被服材料と管理 ・これからの衣生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の機能や役割について理解することができる。 ・衣服の素材について学び、品質表示等を見て適切に管理を行う方法について理解することができる。 ・衣生活が環境に及ぼす影響について考えることができる。 ・布を使った小物の製作等の技能を身に付けることができる。 	
	食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と食事 ・栄養と食品 ・食生活の安全のために ・食生活をデザインする ・調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事調査を通して、各自の食生活の問題点について考えることができる。 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身に付けることができる。 ・食品衛生(食品の選択、食中毒、食品添加物)について理解することができる。 ・バランスの良い食事について考えることができる。 ・調理に関する基礎的な技術を身に付けることができる。 	
2 学期	住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と住まい ・住生活の計画と選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの機能や、住まいと気候風土とのかわり、家族周期とのかわりなどについて理解することができる。 ・安全で快適な住環境について考えることができる。 	
	経済生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの暮らしと経済 ・消費者問題を考える ・持続可能な社会をめざして 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費行動において、意思決定のプロセスを理解することができる。 ・ロールプレイを通して契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法、被害にあった場合の解決方法について理解することができる。 ・消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動することの必要性を理解することができる。 	
3 学期	これからの生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯の生活設計 ・家族・家庭と社会とのかわり 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生について、それぞれのライフステージごとの特徴や課題について考えることができる。 	
	充実した生涯へ	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活 ・高齢社会を支える 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の高齢社会や、高齢者の心身の特徴と生活について理解することができる。 	
	次世代をはぐくむ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達 ・子どもの生活 ・子育て支援と福祉 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の発達と特徴について知り、子どもの食生活・衣生活や遊びについて理解を深めることができる。 	
	ともに生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度 ・多様性と社会参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度に関する理解を深めたり、自分にできる社会参加の仕方について考えたりすることができる。 	